

かけ算（2）～九九をつくろう～

算数科

第2学年

育成を目指す資質・能力
【課題発見・解決力】

単元の概要

お菓子をたくさん集めてお楽しみ会を開くことを単元ゴールとし、他教科等及び実生活との関連を図った単元構成の工夫を行った。探究過程では、お菓子やシールなどを活用し、全てを数えるのではなく、かけ算を使って素早く、正確に数を求める活動を取り入れ、かけ算の良さを実感させるとともに、アレイ図や九九表を用いて数量の関係に着目し、乗法に関して成り立つ性質などを見い出せるようにした。その結果、日常生活になかで意欲的にかけ算を活用するなど、児童の主体的な学びにつながった。

単元の目標

乗法の意味について理解し、それを用いることができる。

- (ア) 乗法が用いられる場合について知ること。
- (イ) 乗法に関して成り立つ簡単な性質を調べ、それを乗法九九に構成したり計算の確かめをしたりすることに生かすこと。
- (ウ) 乗法九九について知り、1位数と1位数との乗法の計算が確実にできること。
- (エ) 簡単な場合について、2位数と1位数との乗法の計算の仕方考えること。

【A 数と計算】

単元の計画（全17時間）

【課題の設定】（3）

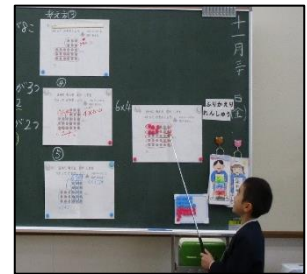
- ・お菓子のたくさんあるお店の映像を提示し、児童にどんなお菓子の数を調べてみたいか聞き意欲付けする。
- ・お菓子いっぱい「お楽しみ会」の計画づくりをする。

【情報の収集】【整理・分析】（11）

- ・多様な考えを引き出し類似点・相違点をもとにキーワードでまとめる。
- ・図を使って説明することで、1つ分の数（まとまり）に着目して問題を解決する。
- ・既習事項を活用し、他の九九に適応する。

【まとめ・創造・表現】（3）

- ・「お楽しみ会」で使用するお菓子づくりの計画を立てる。
- ・（特活「お楽しみ会をしよう」）
- ・単元を振り返る。



【ポイント】 課題発見・解決

お菓子を集めお店を開き、お楽しみ会を開くことを単元ゴールとし、乗法を使ってお菓子の数を数えながら集めていく活動等を設定した。

実生活との関連

児童が好きなお菓子を取り上げ、意欲付けを行った。様々な図もとに多様な意見が出るようにさせた。

他教科等との関連

特別活動「お楽しみ会を開こう」

生活科「うごくうごくわたしのおもちや」

体育科「ボールゲーム」